

Weymuller EA, Yueh B, Deleyiannis FWB, Kuntz A, Alsarraf R, Coltrera MD. Quality of life in patients with head and neck cancer. Arch Otolaryngol Head Neck Surg 126:329-336, 2000.

Terrell JE, Welsh DE, Bradford CR, Chepeha DB, Esclamado RM, Hogikyan ND, Wolf GT. Pain, quality of life, and spinal accessory nerve status after neck dissection. Laryngoscope 110:620-626, 2000.

Shah S, Har-El G, Rosenfeld RM. Short-term and long-term quality of life after neck dissection. Head Neck 23:954-957, 2001

Taylor JR, Chepeha JC, Teknos TN, Bradford CR, Sharma PK, Terrell JE, Hogikyan ND, Wolf GT, Chepeha DB. Development and validation of the neck dissection impairment index. a quality of life measure. Arch Otolaryngol Head Neck Surg. 128:44-49. 2002.

添付1 趣意説明書（患者様用）

がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査へのご協力をお願い

私たちは、頭頸部がんの治療を受けられた皆様のご意見を、これからの診療に反映させたいと考えている研究グループです。頭頸部がんに対する治療を経験された皆さんが抱える悩みや負担を、少しでも軽減する治療法や支援のあり方を考えることを目的に研究を進めております。

今回は、あなたが受けられる（受けられた）首のリンパ節に対する手術（頸部郭清術）について、この手術を受けた皆さんが抱えておられる悩みや率直なお気持ちを聞かせていただくことが必要だと考え、この調査を計画いたしました。

ご回答いただいた結果が、すぐに治療法の向上につながるわけではありませんが、今回お答えいただいた悩みや負担を分析し、よりよい頭頸部がんの治療法を開発していくための基礎資料とさせていただきます。

精神的なご負担になろうかと思いますが、調査の趣旨をお汲み取りいただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成 年 月 日

研究者

所属医療機関

氏名

調査の趣旨について

1. 調査の目的

この調査は、頭頸部がんの治療の為に頸部郭清術を受けられた皆さんが日常生活を送られるうえでの悩みや負担について伺い、より良い治療法を開発することを目的として実施するもので、厚生労働省厚生科学研究の一つです。ご回答いただいた結果が、すぐに新しい治療法につながるわけではありませんが、今後、調査を進めていく中で、今回お答えいただいた悩みや負担などをさらに深く掘り下げ、皆さんの悩みの具体的な原因について明らかにし、効果的な手術方法を検討するための基礎資料としていきます。

2. 調査の方法

この調査は、入院中あるいは外来通院中の皆さんを対象に、全国一律に同じ内容で実施いたします。調査に同意をいただいたうえで、アンケート用紙にお答えいただくものです。

ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の封筒により（切手不要）を返送していただきます。（お帰り前に調査票回収ボックスにご投稿ください）

3. プライバシーは保護されています

調査の趣旨をご理解の上で同意をお願いする書類には署名をしていただくこととなりますが、この同意書およびご回答後のアンケート用紙はあなたが受診されている医療機関で保管をいたします。ご回答いただいたアンケート用紙を事務局に送る場合はお名前が記載された部分を切り取ったものを送り、集合データとしてまとめて分析、公表いたしますので、個人的な情報が報告、公表されることはありません。

4. 参加されない場合でも不利益を被こうむりません

この調査への参加はあなたの意思に任されておりますので、たとえ参加されない場合でも、今後の治療を受けるうえで、不利益を被ることはありません。

5. 答えにくかったら無理に記入しなくても構いません

この調査はあなたの日常生活における悩みや負担などを伺うものですので、答えにくい質問や不快感を与えてしまうことがあるかもしれません。そのように感じられた場合は、無理にお答えいただくかなくても構いません。答えられるところだけお答えください。

6. 同意はいつでも撤回できます

この調査への参加に同意してくださった後でも、自由に同意を撤回することができます。撤回した場合でも、あなたが不利益を被らうことはありません。

7. 参加される皆さんの人権は守られています

この調査は、各医療機関の倫理審査委員会の審査を受け、参加される皆さんの人権が守られていることが確認され、承認を受けたものです。

8. 全体の傾向をまとめた調査結果が公表されます

調査の報告は、集合結果として全体の傾向をまとめた形で、学会や学術論文、マスメディア等に公表されます。また、各医療機関のホームページへも掲載される可能性があります。

9. 文書による同意をお願いします

この調査では、皆さんの同意を書面で得ることが求められています。以上の内容を十分にご理解いただけましたら、同意書にご署名をお願いします。

[問い合わせ先]

わかりにくい点や疑問に思われる点がございましたら、ご遠慮なく下記までおたずねくださるようお願い申し上げます。

各医療機関住所

電話番号

研究者氏名

添付2 同意書（患者様用・医療機関保管用の二枚綴り）

同意書

私は、このたび「頸部郭清術の後遺症に関する実体調査」について、別紙の説明文書「調査の趣旨について」に基づき詳細な説明を受け、以下のことについて了承しましたので、研究へ協力することに同意します。

- 1. 調査の目的
- 2. 調査の方法
- 3. プライバシーは保護されています
- 4. 参加されない場合でも不利益を被うむりません
- 5. 答えにくかったら無理に記入しなくても構いません
- 6. 同意はいつでも撤回できます
- 7. 参加される皆さんの人権は守られています
- 8. 全体の傾向をまとめた調査結果が公表されます
- 9. 文書による同意をお願いします

平成 年 月 日

氏名（自署）

上記患者の研究参加については、私が説明致しました。

説明者氏名

添付3 齊川班 頸部郭清術後機能評価 患者情報票

患者氏名 _____ 記入医師名 _____
 ----- 切り取り線 -----

施設名 _____ 施設ID _____

生年月日 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 男・女 利き腕 右・左

職業 _____ 趣味 _____ 頸部・肩関節の既往 有・無

病名 _____ 病理組織名 _____ T N M

手術 _____ 施行日 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

原発巣への術式
 (含む再建法)

郭清範囲 右 I II III IV V VI R 上縦隔
 左 I II III IV V VI R 上縦隔
 切除組織 右 胸鎖乳突筋 内頸静脈 副神経 頸神経
 左 胸鎖乳突筋 内頸静脈 副神経 頸神経

術前・術後の治療

放射線治療 術前 Gy (化学療法との併用 有・無)
 術後 Gy (化学療法との併用 有・無)
 化学療法 術前 _____
 術後 _____

その他の治療

コメント

術後機能アンケート施行日

第1回	年	月	日	第4回	年	月	日
第2回	年	月	日	第5回	年	月	日
第3回	年	月	日	第6回	年	月	日

施設名 _____ 施設ID _____ 第 _____ 回 _____ 年 _____ 月 _____ 日

下記の質問について 手術を受ける前と比べて、現在の状態に当てはまる答えを○で囲んでください。(1～7の質問には、左右別々にお答えください)

0. まず始めに、あなたの利き腕はどちらですか？ (右利き 左利き)

1. 肩や首が硬くなりましたか？

右 まったくない ほとんどない 少し硬くなった かなり硬くなった 大変硬くなった

左 まったくない ほとんどない 少し硬くなった かなり硬くなった 大変硬くなった

2. 肩や首が締めつけられますか？(首が重く感じられますか？)

右 まったくない ほとんどない 少しある かなり締め付けられる 大変締め付けられる

左 まったくない ほとんどない 少しある かなり締め付けられる 大変締め付けられる

3. 肩や首が痛みますか？頭痛を感じるが増えましたか？

右 まったく痛まない ほとんど痛まない 少し痛む かなり痛む とても痛む

左 まったく痛まない ほとんど痛まない 少し痛む かなり痛む とても痛む

4. 首のしびれを感じますか？

右 まったく感じない ほとんど感じない 少ししびれる かなりしびれる 大変しびれる

左 まったく感じない ほとんど感じない 少ししびれる かなりしびれる 大変しびれる

5. 肩が下がったと感じますか？

右 まったく感じない ほとんど感じない 少し下がった かなり下がった 大変下がった

左 まったく感じない ほとんど感じない 少し下がった かなり下がった 大変下がった

6. 高い所のものが取りにくくなりましたか？

右 問題ない ほとんど問題ない すこし取りにくい かなり取りにくい 大変取りにくい

左 問題ない ほとんど問題ない すこし取りにくい かなり取りにくい 大変取りにくい

7. 首や肩の外観の変化が気になりますか？

右 気にならない ほとんど気にならない 少し気になる かなり気になる 大変気になる

左 気にならない ほとんど気にならない 少し気になる かなり気になる 大変気になる

8. 寝ていて起きあがる時に不自由を感じますか？

まったくない ほとんどない 少し不自由 かなり不自由 大変不自由

9. 衣服の着脱に不自由を感じますか？

感じない ほとんど感じない 少し不自由 かなり不自由 大変不自由

10. 術後、髪の毛を洗うのが困るようになりましたか？

問題ない ほとんど問題ない すこし困る かなり困る 自分で洗えない

11. 顔のむくみが気になりますか？

気にならない ほとんど気にならない 少し気になる かなり気になる 大変気になる

12. 首や肩の症状により日常生活に不自由を感じますか？

問題ない ほとんど問題ない すこし不自由 かなり不自由 大変不自由

13. 首や肩の症状により今までのお仕事が制限されますか？

全く問題ない ほとんど問題ない 少し制限 かなり制限 非常に制限

14. 首や肩の症状により趣味やスポーツが制限されますか？

全く問題ない ほとんど問題ない 少し制限 かなり制限 非常に制限

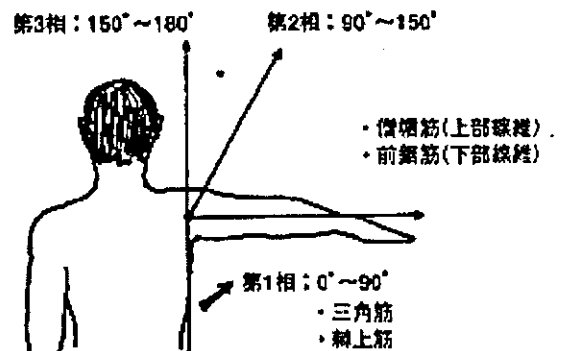
15. 現在の日常生活に満足していますか？

大変満足 かなり満足 まあまあ満足 少し不満 非常に不満

上肢挙上テスト 右 _____ 左 _____

手の甲を上にして 上肢を側方に

0. 全く、あるいは、ほとんど挙げられない
1. 水平、あるいは、その前後までしか挙げられない
2. 水平以上挙げられるが、160度以上は挙げられない
3. 160度以上挙げられるが、真上までは挙げられない
4. 真上まで挙げられるが、努力が必要、または痛みを伴う
5. 無理なく真上まで挙げられ、痛みも伴わない



研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
大山和一郎	頸部郭清術	林隆一	新癌の外科－手術手技シリーズ8 頭頸部癌	メジカルビュー社	東京	2003	80-89

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
日本TNM分類委員会 頭頸部小委員会（執筆担当：齊川雅久）	日本における頸部郭清術の現況－疫学的検討－	JOHNS	18巻10号	1705-1709	2002
齊川雅久, 海老原敏	頸部郭清術の変遷－根治的頸部郭清術から機能温存を主眼とする頸部郭清術へ－	頭頸部外科	14巻1号	93-98	2004
松浦一登, 林隆一, 海老原敏, 齊川雅久, 山崎光男, 門田伸也, 清野洋一, 木股敬裕, 桜庭実, 菱沼茂之	舌扁平上皮癌一次治療症例(274例)の手術治療成績	頭頸部癌	30巻4号	550-557	2004
岸本誠司	頸部リンパ節転移と頸部郭清術	JOHNS	18巻10号	1701-1704	2002
岸本誠司, 林隆一, 海老原敏	T2-T4, N0症例の頸部郭清術の適応と術式－舌癌－	耳鼻	48巻補1号	S25-S32	2002
鈴木政美, 岸本誠司	喉頭癌における頸部郭清術の適応	JOHNS	18巻4号	803-807	2002
Nakagawa T, Shibuya H, Yoshimura R, Miura M, Okada N, Kishimoto S, Amagasa M, and Omura K	Neck node metastasis after successful brachytherapy for early stage tongue carcinoma	Radiother Oncol	68巻2号	129-135	2003
古宇田寛子, 合津和央, 杉本太郎, 石川紀彦, 岸本誠司	頸部郭清術後リンパ漏に対するミノサイクリン局所注入療法	日耳鼻	106巻2号	160-163	2003
古宇田寛子, 岸本誠司	頸部手術後におけるリンパ漏の予防と対応	JOHNS	19巻3号	467-469	2003

岸本誠司	3.ルビエールリンパ節転移の 治療方針—下咽頭癌を中心に — 2)ルビエールリンパ節 (咽頭後リンパ節) 郭清の適 応	耳喉頭頸	76巻7号	443-449	2004
岸本誠司	上咽頭癌と頸部郭清術	JOHNS	20巻10号	1612-1614	2004
千々和圭一, 藤田博 正, 梅野博仁, 中島 格, 末吉晋, 井上要二 郎	下咽頭・頸部食道癌のリンパ 節郭清術	手術	56巻11号	1581-1587	2002
西條茂	頸部郭清術の範囲—下咽頭癌 の場合—	JOHNS	20巻9号	1417-1419	2004
吉積隆, 平尾隆, 高須 幹弥, 海老原充, 佐竹 文介	原疾患別にみた頸部郭清術の 適応・術式・成績—下咽頭癌	JOHNS	18巻10号	1759-1762	2002
吉積隆, 平尾隆, 波多 祐紀	頸部郭清術の範囲—中咽頭癌 の場合—	JOHNS	20巻9号	1414-1416	2004
別府武, 鎌田信悦, 川 端一嘉, 苦瓜知彦, 保 喜克文, 三谷浩樹, 吉 本世一	耳下腺癌における頸部郭清術 の方針についての検討	日耳鼻	105巻2号	178-187	2002
苦瓜知彦, 鎌田信悦, 川端一嘉, 三谷浩樹, 吉本世一, 米川博之, 三浦弘規, 別府武	原疾患別にみた頸部郭清術の 適応・術式・成績—中咽頭癌	JOHNS	18巻10号	1755-1758	2002
別府武, 鎌田信悦, 川端一嘉, 苦瓜知彦, 三谷浩樹, 吉本世一, 米川博之, 三浦弘規, 福島啓文, 佐々木徹, 浜野巨秀, 多田雄一 郎, 保喜克文	顎下腺癌における予防的頸部 郭清について	日耳鼻	106巻8号	831-837	2003
苦瓜知彦, 鎌田信悦, 川端一嘉, 保喜克文, 三谷浩樹, 吉本世一, 米川博之	健側リンパ節転移の取り扱い —中咽頭癌の場合—	耳鼻	49巻補1号	S55-S59	2003
吉本世一, 三谷浩樹, 米川博之, 鎌田信悦, 川端一嘉, 苦瓜知彦, 三浦弘規, 別府武, 福 島啓文, 佐々木徹, 多 田雄一郎, 蝦原康宏	舌・喉頭・下咽頭癌手術にお ける予防的頸部郭清の適応と その範囲	頭頸部外 科	14巻1号	73-79	2004
三浦弘規, 杉谷巖, 藤 本吉秀, 川端一嘉, 鎌 田信悦, 柳澤昭夫	咽頭後リンパ節に転移を来し た甲状腺乳頭癌の検討	臨床研究	21巻1号	33-38	2004

長谷川泰久	術式別頸部リンパ節郭清術－ 選択的頸部郭清術	JOHNS	18巻10号	1735-1738	2002
長谷川泰久	下咽頭癌における頸部郭清術	JOHNS	19巻8号	1110-1114	2003
寺田聡広, 小川徹也, 兵藤伊久夫, 伊地知 圭, 有馬忍, 安藤篤, 鈴木康士, 長谷川泰久	センチネルリンパ節ナビゲ ーション手術 愛知県がんセン ター頭頸部外科における現状	頭頸部外 科	14巻1号	81-86	2004
寺田聡広, 長谷川泰久	センチネルリンパ節の研究最 前線 口腔癌－舌癌のセンチ ネルリンパ節同定について－	癌と化学 療法	31巻4号	639-643	2004
Goto M, Hasegawa Y, Terada A, Hyodo I, Hanai N, Ijichi K, Yamada H, Fujimoto Y, and Ogawa T	Prognostic significance of late cervical metastasis and distant failure in pa- tients with stage I and II oral tongue cancers	Oral Oncol	41巻1号	62-69	2005
藤井隆, 吉野邦俊, 佐 藤武男	頸部リンパ節転移に対するそ の他の対応－術後合併症と機 能障害	JOHNS	18巻10号	1807-1811	2002
藤井隆, 吉野邦俊, 上 村裕和, 栗田智之, 赤 羽誉, 藤久仁親, 鈴木 基之, 宇和伸浩, 佐藤 武男	当科における下咽頭癌治療の 最近の治療戦略	日気食会 報	55巻2号	120-126	2004
力丸文秀, 藤賢史, 檜垣雄一郎, 冨田吉信	当科における舌癌N0症例の頸 部の治療方針	頭頸部外 科	14巻3号	209-213	2004